

1 国語に関する調査

【特長】

- ・言語の意味を推測する問題についての正答率が高く、言語知識及び事象や行為、心情を表す語句についての知識が身に付いていると考える。
- ・歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す問題について、よくできている。授業で暗唱テストや音読などに取り組むことで、古語に親しみをもち知識を定着させることができた。

【課題】

- ・意見と根拠を読み取る力に課題がある。新聞記事などを読み要約をし、さらにそこから自分の意見を書くなどの活動を授業に取り入れる必要がある。
- ・具体と抽象など、情報と情報との関係について理解する力に課題がある。意味段落や形式段落をとらえる力を育成し、目的に応じて書く学習にさらに取り組む必要がある。

2 数学に関する調査

【特長】

- ・自然数についての知識・理解を問われる問題や、文字を含む分配法則を用いた基本計算の問題については、比較的できている。
- ・文字を使って数の性質を証明する問題は、比較的できている。これは、日頃の授業で生徒同士が解法を論理的に説明し合う時間を設けている成果ととらえている。

【課題】

- ・空間図形の単元では、空間における平面が同一直線上にない3点で決定されることを理解していない生徒の割合が高かった。
- ・用語や長文を理解することに課題を抱えている生徒の割合が高かった。用語を使って生徒同士で教え合うような経験を積んでいく必要がある。

3 英語に関する調査

【特長】

- ・日常的な場面における会話を聞き、その内容にあう絵を選択する問題は、多くの生徒ができていた。
- ・日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を読み取る問題は、比較的多くの生徒ができていた。

【課題】

- ・社会的な話題に関して、考えたことや理由を、簡単な語句や文を用いて正確に書くことについて課題がある。
- ・日常的な話題について、事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことについて課題がある。

4 生徒質問紙の結果より

【特長】

- 「人が困っているときに、進んで助けようとする」、「いじめはどんな理由があってもいけない」と回答した生徒の割合が高かった。
- 「学校に行くのは楽しい」と思う、「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」と回答した生徒の割合が高かった。

【課題】

- 本や新聞を読む生徒、学校図書館を利用する生徒の割合が低かった。活字離れが進んでいるので、学校図書館を活用して読書の時間を増やす必要がある。
- 全体的に、土曜日や日曜日など学校が休みの日の勉強時間が少ないことから、休日も含めた学習習慣の定着に力を入れる必要がある。

授業・学校生活の充実に向けた取組

- 考えたことを文章で書き、それを他者と考えを交流することを通じて、考えを深めたり広げたりする活動を取り入れ、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を行っていく。
- 生徒の自己肯定感を育むために、教職員が生徒一人一人の特性や可能性を積極的に認めたり、生徒同士がお互いを認め合ったりするような取組を充実させる。
- 新聞や学校図書館を授業等で積極的に活用することにより、活字に触れる機会を増やしたり、読書の楽しさを実感できるようにしたりしていく。
- 学習を振り返り、どこができるようになったのか、どこがまだ分からないのかを自分自身で把握して、分かるまで繰り返し取り組んでみるといった「自ら学ぶ活動」を授業の中で積極的に取り入れていく。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと・地域の方に知っておいていただきたいこと

- お子さんが安心して学校生活を送れるよう全教職員で取り組みます。自己肯定感をさらに高められるよう、お子さんのよいところを伸ばし、やる気を引き出す言葉掛けをお願いします。
- 平日以外も家庭での学習が計画的に行えるよう習慣付けができるとういことです。自主的な時間の管理を促し、基礎学力の定着につなげていけるよう、ご家庭でもご指導ください。
- 地域の皆様からご支援ご指導をいただいたおかげで、子どもたちは素直に成長しております。引き続きあたたかく見守っていただきますようお願いします。